

阿蘇くまもと空港アクセス鉄道等 に関する緊急要望書

令和8年（2026年）8月19日

熊 本 県

阿蘇くまもと空港アクセス鉄道整備及び ＪＲ豊肥本線輸送力強化への支援

要望事項

令和９年度からの事業着手に向けた阿蘇くまもと空港アクセス鉄道整備及びＪＲ豊肥本線輸送力強化に対する最大限の財政支援

【提案・要望の内容】

半導体関連産業の集積やインバウンドの拡大に伴う人流の大幅な増加に対応し、企業活動の円滑化や、訪日外国人旅行者の円滑な移動・滞在を実現するためには、半導体関連産業集積地と空の玄関口である阿蘇くまもと空港を繋ぐ空港アクセス鉄道の整備と、これに接続し、空港と熊本市中心部を繋ぐＪＲ豊肥本線の輸送力強化を一体的に進めることが必要不可欠である。

これらの事業は、今後、半導体関連産業の更なる集積を進めていく上で、国際競争力の強化等のために必要不可欠であり、我が国の成長戦略や経済安全保障に大きく貢献する大規模かつ重要な事業であるとともに、訪日外国人旅行者等の更なる周遊促進を図るためにも重要な取組であり、早期に事業化を図っていく必要がある。

加えて、国の地域未来戦略において、「空港アクセス鉄道整備等利子補給金」や「地域未来交付金」などを活用し、戦略産業クラスターの形成に真に必要な空港アクセス鉄道等の周辺拠点整備を実施していくことが盛り込まれたことも踏まえ、次のとおり、本事業に対して最大限の財政支援をお願いしたい。

- ① 国際観光旅客税を活用した「空港アクセス鉄道整備費利子補給金」について、本事業を対象としていただくとともに、地域の実情を踏まえた利子補給率の嵩上げや利子補給対象の柔軟化などの手厚い財政支援をお願いしたい。
- ② 各地域の人流の拠点となる新設の空港駅やＪＲ豊肥本線の主要駅等の整備について「地域未来交付金（拠点整備事業等）」の活用を見込んでいるが、本事業が我が国の成長戦略や経済安全保障に大きく貢献する大規模な取組であることを踏まえ、１事業あたりの交付上限額の撤廃や補助対象経費に係る柔軟な運用をお願いしたい。
- ③ 海外からの観光客の増大や企業活動における移動需要の増加に適切に対応するため、鉄道車両の導入に係る支援をお願いしたい。
- ④ 本事業は、我が国の成長戦略や経済安全保障に大きく貢献する大規模な取組であることを踏まえ、県負担に対する手厚い地方財政措置をお願いしたい。

【現状・課題】

- ・令和７年度の阿蘇くまもと空港旅客数は、約385万人と過去最高を更新し、特に国際線旅客数は約64万人と、ＴＳＭＣ本社が立地する台湾路線の充実により、前年度から３割以上増加した。
- ・空港運営会社である熊本国際空港(株)は、2051年度の旅客数目標値を622万人（うち国際線175万人）と見込んでおり、今後さらに増加が見込まれる航空旅客需要に対応する公共交通の輸送力を確保するためにも、空港アクセスの充実は必要不可欠な状況である。
- ・また、ＪＡＳＭやソニー等が立地するセミコンテクノパーク周辺では、従前より通勤時間帯を中心に激しい交通渋滞が発生している。渋滞解消に向けては、ＪＲ豊肥本線と、最寄り駅からの通勤バスが重要な通勤手段の一つとなっているが、ＪＲ豊肥本線は、朝夕の通勤、通学時間帯での混雑が常態化している状況。ＪＡＳＭ第２工場やソニー新工場などの企業の更なる集積

や住宅の開発等が異次元の規模・スピードで進んでいることから、早急にＪＲ豊肥本線の輸送力強化を図る必要がある。

- ・このような状況の中、昨年１１月にはＪＡＳＭやソニー等で構成する「くまもと半導体グリーンイノベーション協議会」から本県に対し、半導体産業を支える重要な交通インフラの柱の一つとして空港アクセス鉄道整備とＪＲ豊肥本線輸送力強化について要望書が提出されており、早急な対応が求められている。
- ・本事業は国の「フィジカル・インテリジェント・システムの中核を担う半導体 戦略産業クラスター計画（九州地域）」に明記された。（令和８年７月３１日 関係副大臣等会議（第５回））

【事業概要】

〔空港アクセス鉄道整備計画の概要〕

整備内容：ＪＲ豊肥本線肥後大津駅から阿蘇くまもと空港まで鉄道を新設

（Ｒ８年度：鉄道事業許可取得予定、Ｒ９年度：整備着手予定）

整備延長：約６．８ｋｍ

概算事業費：約６１０億円

〔ＪＲ豊肥本線輸送力強化の概要〕

整備内容：高速交通体系の形成に向け、武蔵塚駅及び原水駅の同時進入化、東海学園前駅の行違い施設整備及び同時進入化、一部区間の複線化等

概算事業費：約６０億円

【各種データ（半導体関連産業集積地周辺の状況）】

- ・豊肥本線平均通過人員 4,902人/日→13,769人/日（Ｓ６２→Ｒ６年度）
- ・阿蘇くまもと空港利用者数 約３７０万人→約３８５万人（Ｒ６→Ｒ７年度） ※過去最高
うち国際線 約４８万人→約６４万人（Ｒ６→Ｒ７年度）
- ・阿蘇くまもと空港国際線定期便数 ６路線・週４６便（Ｒ８年６月１３日～）
- ・セミコン通勤バス利用者数 約１０万人→約３２万人（Ｒ３→Ｒ７年度）
- ・空港ライナー（ジャンボタクシー）利用者数 約６万人→約１７万人（Ｒ３→Ｒ７年度）
- ・豊肥本線沿線人口の増加率（Ｈ２７→Ｒ７年度） 合志市：１０．０％、菊陽町：８．８％、大津町：８．７％

各交通拠点と企業集積地間の交通ネットワーク将来像

